

令和3年第2回福祉医療常任委員会 要点記録

| | | | | | |
|------------------|---|---------------|--------------|--------------|----------------|
| 開閉会日時 | 令和3年3月9日(火曜日) | 開会 | 13:27 | 現地調査 会議場所 | 別海町議会 委員会室1 |
| | | 閉会 | 13:54 | | |
| 委員の出欠 | 2 番 横田 保江 出席 | 4 番 小椋 哲也 出席 | 7 番 木嶋 悦寛 出席 | | |
| | 12 番 松原 政勝 出席 | 14 番 佐藤 初雄 出席 | | | |
| 出席説明員 | 福祉部 | 福祉部長 | 福祉部次長 兼 町民課長 | 福祉課長 | 介護支援課長 |
| | | 今野 健一 欠席 | 青柳 茂 欠席 | 干場みゆき 欠席 | 千葉 宏 欠席 |
| | | 保健課長ほか | 老人保健施設事務長 | 訪問看護ステーション所長 | |
| | | 干場 富夫 欠席 | 竹中 利哉 欠席 | 堀 留美 欠席 | |
| | | 介護支援課主幹 | 地域包括支援センター長 | 居宅介護支援事業所長 | |
| | | 高橋 勇樹 欠席 | 九里 富恵 欠席 | 渡辺 久利 欠席 | |
| | | 保健課主幹 | 保健課主幹 | 母子健康センター師長 | 福祉課主査 |
| | | 齊藤 晴美 欠席 | 畠澤みどり 欠席 | 花川 純子 欠席 | 武田 妙子 欠席 |
| | | 福祉課主査 | 介護支援課主査 | 地域包括支援センター主査 | 町民課主査 |
| | | 澤田 憲一 欠席 | 松本 静香 欠席 | 大道 詳子 欠席 | 奈良 司 欠席 |
| | | 町民課主査 | 町民課主査 | 町民課主査 | 保健課主査 |
| | | 平下奈津子 欠席 | 橋本 達也 欠席 | 木幡 友哉 欠席 | 能登 麻奈美 欠席 |
| | 母子健康センター主査 | 老人保健施設主査 | 保健課主任 | | |
| | 大森 晴海 欠席 | 岩口 真紀子 欠席 | 佐伯 祐司 欠席 | | |
| | 別海 病院 | 病院事務長 | 病院事務課長 | 病院事務課主幹 | 病院事務課主査 |
| 大槻 祐二 出席 | | 小川 信明 出席 | 石戸谷友絵 出席 | 西田 和弘 出席 | |
| 総務部 | 税務課長 | 税務課主幹 | | | |
| | 伊藤 輝幸 欠席 | 松田 勝広 欠席 | | | |
| 委員外の出席 | 議長 西原 浩 | | | | |
| 事務局職員 | 事務局事務員 松田 千里 | | | | |
| 傍聴者数 | 一般 0名 | 報道関係者 0名 | 合計 0名 | | |
| 会議に付した事件及び会議結果など | | | | | |
| 発言者 | 会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。 | | | | |
| 委員長 7 番 木嶋 | 13:27 開会 | | | | |
| | 開会挨拶 | | | | |
| | 出席委員 5名、欠席委員 0名、委員外 1名、会期 1日 | | | | |
| 病院事務長 大槻 | 挨拶及び経過報告 | | | | |
| | 1 発熱外来について | | | | |
| | 2 新型コロナウイルスワクチンについて | | | | |
| 委員長 7 番 木嶋 | 質疑 | | | | |
| 副委員長 4 番 小椋 | ① ワクチンの使い方について確認したい。一般質問でもあったが、100回分のワクチンがあったとしたら、50人に2回打つという話だった。3週間も空けなければいけないのに50人なのか。1回目の接種でも十分効果があると聞いているが、100人に接種ということにはならないのか。 | | | | |
| 病院事務長 大槻 | ① 国の方針がワクチン2回分で1人分なので、あのような答弁になった。まだどれくらいの数がどのような形で、ワクチンが届くかわからないので、実際にどうなるかは回答できかねる。 | | | | |
| 委員 2 番 横田 | ① ワクチン接種時にアナフィラキシーショックが起きた場合、別海病院でも対応できるのか。 | | | | |
| 病院事務課主幹 石戸谷 | ① 新型コロナウイルス以外のワクチンでもアナフィラキシーショックは起こる可能性があるため、万が一の時の対応は可能である。 | | | | |
| 病院事務長 大槻 | ① ワクチン接種会場には必ず医師が常駐し、アナフィラキシーショックなどに対応する医薬品類も設置予定である。 | | | | |
| 委員 2 番 横田 | ② 高齢者で持病がある場合、ワクチンを接種することで体調が悪くなり、重症化しドクターヘリで運ばれるという可能性もあると思う。もしそのような患者が | | | | |

令和3年第2回福祉医療常任委員会 要点記録

| | |
|-------------|---|
| | 一度に何人も出てきてしまうとドクターヘリの数も限られるため、対応できないのではないか。 |
| 病院事務長 大槻 | ② いろいろな心配が尽きないのは重々承知している。しかし、ワクチン接種後に体調を崩すのは何十万人に一人と言われており、医師からもドクターヘリで運ばなければならない状況というのはそうそうないという話も聞いている。別海病院でもある程度の処置はできる。 |
| 委員 2 番 横田 | ② 接種券が到着した後にもし事故等にあつて長期の入院となった場合、どこで接種するのか。 |
| 病院事務長 大槻 | ② 入院患者は居住地に関わらず、入院している病院で接種できるようにという国の方針がある。急な事故での入院等は個人ごとの対応となる。 |
| 委員 2 番 横田 | ③ 自宅で寝たきりの人はどうやって接種するのか。 |
| 病院事務長 大槻 | ③ 今のところ想定はしていないが、訪問での接種がよいのではないかと思う。保健課と協議する。 |
| 委員長 7 番 木嶋 | ① 居住地と勤務地が異なるとき、勤務地の方で接種したいとなったときに可能であるのか。 |
| 病院事務長 大槻 | ① 国の指針では可能であるというふうになっている。ただ、それぞれの町のワクチンの供給量によると思う。 |
| 委員長 7 番 木嶋 | 議事1 所管事務調査について |
| | (1) 町立別海病院の経営等について |
| | 資料により内容説明 |
| 委員長 7 番 木嶋 | 質疑 |
| 委員 12 番 松原 | ① 包括ケア病棟について、実際どれくらいの増収になったのか。 |
| 病院事務課主幹 石戸谷 | ① 急性期医療と比べると、ひと月当たり200万円から300万円の増収となった。 |
| 副委員長 4 番 小椋 | ① 急性期が終われば、包括ケア病棟にベットごと移動となってしまうわけだが、患者から何か意見はあったか。 |
| 病院事務長 大槻 | ① 特段否定的な意見はなかった。 |
| 委員長 7 番 木嶋 | 議事2 その他について |
| 病院事務長 大槻 | なし |
| 委員長 7 番 木嶋 | 全体を通して質疑なし |
| 委員長 7 番 木嶋 | 閉会挨拶 |
| 委員長 7 番 木嶋 | 13:54閉会 |